

明星バザーだより Vol.2

学年模擬店決定号

高校生コラボ第一弾 自治会がバザーに初参加



今年のバザーは、初めてがたくさん。バザー委員会でも大拍手で迎えられた高校生コラボを紹介しします。明星学園バザーと名を打っていても少し校舎が離れた高校生が、バザーに足を運んでもらえるようにするにはどうしたらよいのだろうか。今年のバザー本部では、高校生コラボの実現のために、様々なアプローチを行っていましたが、高校自治会が以前から行っているごみ問題に関連した企画を考えてくれました。その名も、「リユースしない理由なくない??？」と題した、

古着のリサイクル企画です。7月8日の第6回委員会に自治会の役員が参加をし、その後の分科会で、バザー本部のメンバーと様々な意見が交わされました。結果、集めた古着を販売して、欲しい人に喜んでもらおう！売り上げは、自治会費として有意義に使わせてもらう！という話に、さすが吉祥寺という土地が育て企画ではないかと大きく膝を打ちました。これからどんどん企画が膨らみそう。コラボ第2弾も準備中です。続報をお楽しみに。

バザーちらしのデザイナー名倉さん独占インタビュー!!

今年のバザーちらしは、2回目の委員会内での「ちらしを作りたいのですが、どなたか助けていただけますか?」の久野バザー委員長の必死の叫びに、「はい」と即答で手を挙げてくださいました救世主名倉さんに、全員からの拍手をもらってお願いすることになりました。5年生・7年生の保護者である名倉さんにちらしができるまでの秘話を伺いました。

今回ちらし作成に手を挙げてくださったきっかけは?

昨年の12月まで、家族の赴任先のバザりで4年半を過ごし、現地の日本人学校でも、PTAのような活動も行っていました。帰ってきた学校探しをしているときに明星学園に出会い、子供を二人通わせることにしました。そして自分自身、もっと学校のことを知りたいたいと思い、バザー委員になることにしました。私は、「できる人ができることをやればいい」と思っているのですが、今回執行部制ではない委員会の中で、自分でできることがあったので、手を上げました。

ちらしのデザインは、どのように考えられたのでしょうか?

私の中のバザーのイメージ、校庭に楽し気なテントがたくさんあって、色々な人が来て楽しむ「大人の文化祭」が頭の中にありました。わくわくするテントといえば、サーカステントでしたので、それをモチーフにデザインを考えました。

今年のバザーのテーマとなる「手をつなごう」には、自分たちも楽しみ、来てくれる人も楽しい、そんなバザーにしたいという思いがあります。肩肘を張り頑張りすぎて疲れ果てて終わるのではなく、皆が楽しかった!と笑って終われるようなバザーを目指したい、そんな思いをデザインでも伝わるようにと思いました。

フライヤーのオレンジは秋のイメージ、それから明星学園のイメージカラーとも伺っていたので、この色で全体をまとめました。

どのようなバザーになったらいいと思いますか?

子どもって、楽しいこととはとことん楽しんでくれると思うので、まずは子供たちを楽しんでほしいです。大人ももちろん物事を複雑にせずに、シンプルに考えて、楽しめたらいいなと思います。コロナを経て、小学校から高校までが1つになれることの意義は、大きいと思っています。今回、高校生の自治会がバザーに参加してくれることになりました。高校生自らが自分たちがやりたい、かかわりたいと思うことをしてくれていて、それをとてもうれしく思っています。そういう機会がまた新たに人を結びつけることができそうです。また、上の学年の様子をみて、下の学年に伝統としてつなげていく、そのような機会がたくさん生まれるとうれしいと思っています。

ありがとうございました。



学年の模擬店が決定!!

5月から活動を続けてきた各学年のバザーで模擬店が決まりました。
今回は、アンケート形式で寄せられた内容のご紹介となります。

- ① どうしてその模擬店をしようと思ったか?
- ② 模擬店が決まるまでの苦労話などがありましたか?
- ③ 模擬店の目玉はなんですか?
- ④ バザー当日楽しみにしていることはありますか?

1年生☆つりぼり

- ① 低学年の子供達でも楽しめるように決めました
- ② 初めてなので、手探りでまだよく分かっていません
- ③ 自分で出来た!という楽しさと、何が当たるかという、ワクワク感
- ④ 子供達の喜ぶ姿を楽しみにしています



学年を超えて、安全衛生の情報交換

2年生☆わくわく縁日

- ① 自分達の子供が低学年の為、低学年でも楽しめる縁日をやろうと思いました
- ② 模擬店が決まるまではそれほど苦労はありませんでした。ただ、リアル開催がどこまでリアルで出来るのか、誰も経験者がいない中どう進めていけばいいのかなどの不安はありました
- ③ 当日までのお楽しみ*
- ④ 子供達の笑顔

3年生☆クラフトマルシェ

13つの工作ひろばーワイヤークラフト、森のお守り、オリジナルバッグ

- ① 子どもたちが楽しんでくれると思ったので
- ② バッグ作り
- ③ みんなの喜ぶ姿



分科会では学年ごとに準備

5年生☆シールペイント&手作り缶バッジ工房☆

- ① 自分が子どもに参加したワークショップなどを参考にしながら、バザー当日の子ども達が喜びそうな内容を出し合いました。最終は、これなら自分達もやりたい!というお店に決めました。
- ② 苦労は特にありません!楽しく分担してやっています。
- ③ 自分だけのオリジナル、世界に一つの缶バッジを作れます。数量限定の百周年記念グッズもありますよ!
- ④ 子ども達が当日ペイントシールをして校内を回っている様子や、オリジナル缶バッジを付けている子を見て、自分も作りたい!とお店に来てくれる子が続出するのを楽しみにしています。さらに、子どもに付いてきた大人も、私もやっちゃおうかなと楽しむ姿を妄想しています

4年生☆モンスタースターズドリンク

- ① ハロウィン! そう、それは今や大人も子供もみんなワクワクドキドキのモンスタースターズ祭り。プラタナスの木の下でかわいいモンスタースターズドリンク、きつと楽しい!と思いました☆
- ② 商品開発に未だ時間がかかっています! 安全衛生のルールの中でいかに美味しく可愛く映える楽しいドリンクを作れるか!
- ③ 子供ビールカラフル可愛いドリンク人気フレーバーポップコーン
- ④ いろんなお店に遊びに行っただけから食べ飲み歩きます!皆さんの苦労がわかるぶん、どのお店も楽しみだし隅から隅まで味わいたい!

6年生☆ベンガラ泥染め 明星焼き☆

- ① 明星焼きは、飲食をやったこと、過去にやったことがあって資料が残っているものであれば出店がスムーズと考えたと。ベンガラ染めは、なにか思い出として残るものを制作する、ワークショップ的なものを作りたかったところに、教えられる!という方が学年にいた事ですぐに決まりました。
- ② 決まるまでは特に苦労はなかったですが、今後染物をするため、その材料となる袋や手ぬぐいなど制作するのが大変かと思えます。
- ③ 明星焼きとベンガラ染めです
- ④ お手伝いをしてくださるボランティアの方々共々、和気あいあいと楽しく作って沢山売って盛り上がりたいたいですし、ベンガラ染めもお客さんとアートとして楽しみたいです!



会計分科会では、1つ1つ細かく確認

7年生☆寄贈品バザー

- ① 明星バザーには寄贈品が欠かせないという意見が一致し、4年ぶりのリアル販売を盛り上げます！
- ② イベント系や飲食店の捨てがたいアイデアもあつたので、1つに絞るのが大変でした
- ③ どんな品が集まるか私たちも楽しみです。いい物をぜひお持ちください！
- ④ 子どもたちも大人の皆さんも気に入った物を見つけられると嬉しいですよ

8年生☆タピオカび

- ① 小さなお子さんや小学生だけでなく、中高生も来てくれると思ったから
- ② タピオカ店をやる、と決めるまでが大変でした。
- 元々はバルーン屋さんをやる予定でした。
- でも話しているうちに「エコステーションもやりたいという流れになり「バザーで出るゴミを減らそう」となったのですが、期間でクリアするには難しい課題があり、エコステーションは見送ることになりました。
- 企画が白紙に戻り、でも店名だけは早く決めなきゃいけない、と焦る中で、あるバザー委員さんの一声によりタピオカ店に決まりました。
- 決まった時は本当に安心しました。
- ③ タピオカドリンクの味をいろいろ用意しています。
- 定番のミルクティー以外にも準備しているので、気になった味を気軽に試してもらえればと思います。□ゴの「タピオカび」もかわいいので、見つけてもらえると嬉しいです
- ④ 久しぶりのリアルバザーということですが、リアルバザーへの参加は初めてです。なので、出店する側としても楽しみですし、お客さん側としていろいろなお店を見て回るのも楽しみにしています

9年生☆明星元気スタンド

パンとフルーツドリンクとときどき筋肉

- ① 中高生にも楽しんでもらえるようなお店を作りたいと考えました！
- ② 新しいコンセプトのお店なので、レシピ開発やゲーム内容を考えたりしたことです！
- ③ 限定パンと映えドリンク、体を使ったゲームです！
- ④ たくさんの方々の元気な笑顔に出会えることを楽しみにしています！

10年生☆明星屋台

焼きそば&フランクフルト

- ① 10年生恒例の模擬店であるため
- ② 色々アイデアありましたが、現実的にできるかが想像できなかった
- ③ 熱々の焼きそば
- ④ 4年ぶりの明星バザーが大盛況になる事



校庭に広げられた大ブルーシート。当日は、この上で模擬店メニューを楽しんでください



試食会で、メニューを検討。美味しいレシピを発見

11年生☆カフェ明星文庫

- ① バザー委員でアンケートを取って出た意見の結果から決めました
- ② ブックカフェをやるつもりで委員会に出席したら、本部から肉まん＆ポップコーンをやるように言われたこと
- ③ 明星の保護者が子どもに読ませたいと入手した本をセレクトしてます。次の方に引き継いでいただけたら嬉しいですよ
- ・賑やかなバザーの中で、座ってゆっくりできる場を提供します
- ・お腹をすかせた子どもたち、疲れた保護者さんに、美味しいこだわりのパンでお腹を満たしていただきたいと思います
- ④ 楽しい時間を過ごして喜んでくださる顔が見れたら嬉しいです

12年生☆明星屋台

フード&ドリンク

- ① 最後まで悩みましたが、前例もあるので決めました
- ②
- ③ 肉まん
- ④ 来てくれる方も準備をした方もみんなの笑顔になれたらいいなと思っています

オンライン

①バザーのリアル開催ができなかった過去の数年間に、WebのバザーサイトやLINE公式アカウントを利用して広報活動が盛んになっていました。その取り組みを継承し、オンラインならではの活動や、動画や写真などのマルチメディアなコンテンツで、バザーの楽しみ方を広げられるように活動しています。

②今年の発足当時、係の中にデザインが得意なメンバーがおられなかったのですが、活動の中でバザー委員の中でグラフィックが得意な方が参加してくださり、うまく活動が展開できるようになりました。

③今年はバザー公式LINEアカウントの活用を目指しています。バザー前後の情報発信はもちろん、LINEで友だち登録していただけると、来年以降もバザーのお知らせをお届けすることで、つながりの形成に貢献できます。またLINE活用を進めて、オリジナルスタンプの制作なども計画しています。

④オンラインPR活動は、LINEやバザーサイトを見た方が、バザーに足を運んでくださることを一番の目的にしています。当日、一人でも多くの方が来場いただく姿を見ることが、楽しみにしていることです！

来月号では、イベントや、有志団体のご紹介の予定です。楽しみに

バザー今昔物語

第6回の委員会では、資料室の大草さんが、明星バザーの歴史についてお話しくださいました。そもそものバザーの生い立ちですが、その歴史は古く、学校創立後すぐに、当時の保護者が子供たちの学びの環境を整えるために手作り品などを持ち寄り販売をしたのが始まりだそうです。自宅で寒天やお豆を作り、そのお鍋をお父さんが背負って学校に持ってきてみつ豆を売ったりとのんびり和気あいあいな雰囲気でも一生涯懸命売り上げをあげて、学校に寄付しようという熱い思いがありました。戦後も、割れた窓ガラスや、汚れた床の校舎を直したり、千倉の寮の身を直したり、昭和40年代には、プール資金を貯めたいという目的で行われたバザーもあったようです。このように、バザーは、収益を上げて、学校に寄付することが目的の一つでもあるわけですが、やはりもう一つは、保護者が楽しむことでした。バザー前に手作りバックのワークショップを開いて、保護者が作った布の手作りバックを売り、生徒がそれを肩にかけて登校したりということもありました。また18年、19年のバザー

当時の委員長を務められた平井さんからは、大雨や台風に見舞われ縮小開催、延期となった年の様子を伺いました。雨や風によって、お客様が来られなくなったり、模擬店の食材をキャンセルしなくてはいけなくなったり、その決断をどう下したのかなどの貴重なお話です。昔は、お天気の安定していた11月に行われていたこともあったようで、氣候の変動により、そのリスクも頭の片隅に置きながら準備をすすめるというふうな準備のアドバイスがありました。最後大草さんからは、バザーは、明星の保護者でいる間しかできないので、どうか楽しんでくださいとエールをいただきました。



左から久野バザー委員長、資料室大草さん、19年委員長平井さん

バザー公式サイト



公式LINE



公式サイト

バザー公式サイトはこちら。
LINE登録もお願いします。

本部からのお願い

★急募★
バザー当日救護室でボランティアください。看護師さん、お医者さんを募集しております。30分でも一時間でも結構です。バザーの安全開催のために、力を貸してください。ご連絡は myojobazaar.2023@gmail.com まで、よろしくお願いたします。



Web Bellmark Shopping

ネットのお買い物で、手軽に本学園に支援を!!

編集後記
なんとかが夏休み前に、バザーちらし、イベントチラシをお届けすることができました。学年の企画も、試食会を実施したりと準備も本格的になってきました。バザーまでの道のりって、本当に大変だなと思いつつ、たくさんのお手をつなぐ仲間がいることを本当に幸せに思っています。次回も、盛りだくさんでお届けします。

発行 明星学園小・中・高
PTAバザー委員会
三鷹市井の頭5-7-7
発行人 バザー委員長 久野真平
PTA会長 三十日明子
編集 PTAバザー委員会本部